

老朽原発
うごかすな！
ニュース
第70号
 発行・老朽原発うごかすな！実行委員会
 [連絡先]
 090-1965-7102

規制委の裁量を広く認め

バックファイアの教訓に背を向け逃げた裁判官

関電の高浜3、4号機について、火山噴火規模の想定を当初の2倍以上に引き上げたことで、規制委が「基準不適合」を認めて設置変更許可申請のやり直しを求めるバックファイアト命令を出しながらも、原発の停止を命じなかったことに對する違法性を問い、適切な評価・安全確認がされるまでの間、関電に対し、原発の使

用停止を命じることの義務付けを求める裁判で、3月10日に名古屋地裁（日置朋弘裁判長、佐久間隆裁判官、若林慶浩裁判官）で判決が言い渡されました。

裁判長の口から発せられた言葉は、たったの2行。「主文、原告らの請求をいずれも棄却する。訴訟費用は原告らの負担とする。」その後、即

座に裁判官は立ち上がり、踵を返して扉の奥へと消えていきました。あつという間の出来事でした。

判決では、今回原告となった高浜原発から3km〜140kmに住む住民（福井、京都、大阪、兵庫、愛知の9名）全員に原告適格が認められ、義務づけ訴訟の要件である「重大な損害を生じる恐れ」が認められたことは意義ある点であります。停止を命じるか否かについては、大山は活火山ではないから、その危険は切迫していないとして規制委の主張を認めており、しかも、原告側が噴火による危険が現実化する蓋然性、危険の程度を立証するべきとしたのです！安全に欠ける現実的な可能性があることを認めながら、立証不可能なことを

言い、結局は規制委の裁量を広く認めた本当にひどい判決だと思えます。裁判官はその態度と同じく、福島事故の教訓から背をむけて、逃げたのだと思います。

同じような機能しか持たせないことにした。」と言われました。原発の危険がわかっていながら動かし続け、重大な事故に至った福島事故の失敗を繰り返すことは許されません。これからも粘り強く闘っていきます。

（原告共同代表

草地妙子）

円山公園音楽堂でメモリアル集会

今中哲三さんが講演、福井からは石地優さんが

京都では3月12日（土）に—円山公園音楽堂で「バイバイ

高浜原発 停止請求を棄却

名古屋地裁 降灰対策の知見めぐり

関西電力高浜原発3、4号機（福井県高浜町）の火山灰対策が不十分だとし、東京電力福島第一原発事故を教訓に、既存の原発について自然災害の影響などの新たな知見が得られた場合、その対策を事業者に義務づけるべきだと主張し、原告らの請求をいずれも棄却する。訴訟費用は原告らの負担とする。

命じなかったことに裁量権の逸脱を認め、違法性を判断した。また、バックファイアの危険性、危険の程度を立証するべきとしたのです！安全に欠ける現実的な可能性があることを認めながら、立証不可能なことを

3月12日、京都ヒトリデモ

バイバイ原発集会在がデモがなかったので、15人が祇園、鴨川をヒトリデモ。たくさんの人にアピール。





原発きようと」のメモリアル集会が開催。今中哲二さん（京大複合原子力科学研）が福島原発の放射能汚染と福島原発の後始末、およびウクライナ問題について講演され、4本の報告スピーチが続きました。最初の報告は中島哲演さん（小浜市明通寺住職）の予定でしたが、体調不良のため若狭町の石地優（いしじ・まさる）さんがピンチヒッターとなり、若狭の原発を巡る「共創会議」などの状況を報告。その他、宗川吉洋（そうかわ・よしひろ）さんから福島で多発している甲状腺がんの問題、

3月13日、「2022年さよなら原発 関西アクション」集会に参加しました。コロナでデモは中止、また、コロナ禍大阪に来ていただくのはということで、福島の菅野哲さんも見合せ。まず福井から。宮下正一さんが関西電力と関西電力旧役員の不正を告発する会ができた経過と不起訴後の経過報告をしました。

原発を止めよう！ 核燃サイクルを中止させよう！

萩原ゆきみさんから原発賠償京都訴訟への支援要請、田中暁（さとる）さんから脱炭と脱原発で気候危機打開の訴えがありました。1200人が参加。コロナ禍でデモは中止になりました。呼びかけ人の構成団体の中には、組織的な原則（動員的な感じ）でメンバーに参加要請を行うところもあり、そういう事情（動員をかける側の責任）からと推察さ

れるデモ中止の意見に、僕はデモ中止に賛成しました。当日「バイバイ原発きょうと」の集会后に「ロシアのウクライナ侵略を許すな！京都抗議デモ」が企画されました（戦争をさせない京都1000人委員会）。こちらに参加してきました。午前中の配付資料セット作業から、チラシ配布ほか、長い一日でした。（京都脱原発原告団 吉田めいせい）

次に神田香織さんの講演。聞いていて胸が痛くなる熱演でした。「ローマ教皇との運命の出会い」と題する原発事故で福島から東京へ避難した少年の物語です。この話は新聞にも報道されたのでご存知の方も多いでしょう。いじめがあつたとは聞いていましたが、神田さんの講演を聞くまで、ここまで酷いとは。原発はひとたび事故を起こせば、

3月13日、大阪ヒトリデモ

この日も「さよなら原発関西アクション」でデモが中止されたので、10人で、中之島から御堂筋を北上してのヒトリデモ。



命や暮らしを根こそぎ奪うだけでなく、辛い生き残った人をも差別で苦しめるものなのです。続いて、関東からの避難者、下澤陽子さんが発言。

立憲民主党の山崎誠さんが「核燃ゼロ・核燃中止を実現するために」と題する講演。まずロシア軍がウクライナの原発を攻撃している現実には、戦争になれば原発が狙われる。3月9日に経済産業委員会です質問したら「原発は武力攻撃を想定していない」「原発がなくても核ミサイクルが飛んで来たら同じでしょう」と驚きの回答があつたそうです。カーボンニュートラルを口実に原発がまた推進されよう

としていることや革新的原子力と称して小型モジュール炉、高速炉などが推進されようとしていること、核燃サイクルの動向などが説明されました。あきれる話ばかりでした。その後、元裁判官の樋口英明さんが会場から発言しました。「多くの人は原発をエネルギーと考えているでしょう。しかし原発の本質は国防問題です。54基の原発が無防備に海岸沿いに建てられています。テロは原発を標的にしないという信頼があるので、うか？原発は自国に向けられた核兵器です」と指摘し大きな拍手がありました。

原発廃炉を勝ち取ろう。（長澤民衣）